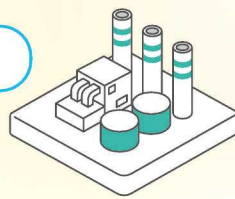




みんなで考えよう

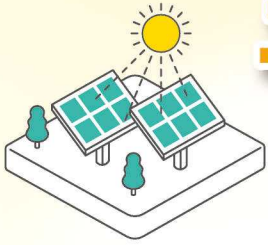


エネルギーの今とこれから



(上)約30mの高さがある排熱回収ボイラー。ガスタービンの排熱で蒸気を発生させている

(下)交換した蒸気タービン。その大きさを実感できる



私たちの暮らしに密接に関わってくるエネルギー問題。自分事として考え、判断していくためには、まず現状を知ることが大切です。そうしたエネルギーについての知識と理解を深めてもらおうと、東北エネルギー懇談会が昨年に続き、発電所見学会&エネルギー勉強会・座談会を開催しました。

▶ 発電所見学会



火力発電所と太陽光発電所 電気が作られる現場へ

東北エネルギー懇談会は、正確で客観的な情報を基に、エネルギーの在り方を考える機会を広く提供している団体だ。今回のセミナーには新潟市や新発田市などに在住の女性7人が参加。午前の部では東北電力の東新潟火力発電所(聖籠町)と、新



発電所内にあるコンバインドサイクル技術館には、ガスタービンの仕組みを紹介する模型などが展示されている

潟県企業局の新潟東部太陽光発電所(阿賀野市)を訪れた。

東新潟火力発電所は総出力416万kWと国内第5位の出力規模を誇り、燃料は液化天然ガス(LNG)。最大の特徴は、ガスタービンと、蒸気タービンを組み合わせて発電を行う、効率性の高い“コンバインドサイクル発電”を国内で初めて採用した発電所ということだ。

参加者は発電の仕組みなどの説明を受けた後、そのコンバインドサイクル発電を行っている3、4号系列を見学。10台のガスタービンが並び、熱気とごう音が響く発電の現場を体感。高さ200mにもなる発電所のシンボリックな煙突は「景観を配慮してブルーに塗装しています」との説明を聞いた。

発電所は365日24時間動き続けている。中央制御室のガラス越しに運転監視に従事する運転員の姿を見ることができた。

続いて訪れたのは、約52haの敷地一面にパネルが並び、新潟東部太陽光発電所。新潟県企業局が低炭素社会の実現に向けた事業として取り組んでいる。この日は雨がぱらつく曇りのため、パネルに

表示されていた発電量は晴れた日の10分の1程度の数値。二酸化炭素の排出がないという良さと同時に、安定した発電を行う難しさや、時間の経過により発電効率が低下するパネルの廃棄という課題もあるという説明を受け、参加者の皆さんは改めて気づきを得た様子だった。



(上)風の丘公園から新潟東部太陽光発電所を眺める参加者の皆さん
(下)パネルは積雪の影響を受けないよう、高い位置に設置するといった配慮がされている

▶ エネルギー勉強会・座談会



国内に資源がない日本 最適なエネルギーの 在り方とは？



ラポルテ五泉を会場に、フリーアナウンサーの湯浅みわさんの進行で行われたエネルギー勉強会・座談会



午後の部は、まず東北エネルギー懇談会の相澤敏也専務理事が「エネルギー問題を考えるいくつかの視点について」と題した講話を行った。エネルギーを考えるには安全性(Safety)、エネルギーの安定供給(Energy Security)、経済効率性の向上(Economic Efficiency)、環境への適合(Environment)という“S+3E”を踏まえた視点が大切だとした上で「国内資源に乏しい日本は火力、原子力、再生可能エネルギーの全てに頼りながら、それらのベストミックスを求めることが必要。2050年までに温室効果ガス排出ゼロを目指すカーボンニュートラルの目標達成のためにも再生可能エネルギーの導入を進めなければいけないが、現

時点ではそれだけで国内の全ての電力を賄うのは技術面も含めて不可能です。まずはエネルギーについての現状を正しく理解してほしい」と語った。

続く座談会では、参加者から「山の斜面の木を切って太陽光を設置する必要はあるのか」「地熱発電の可能性は?」「夜間電力のお得なプランが無くなったのはなぜ?」といった質問が出され、相澤専務理事が回答。最後は「エネルギーについて、それぞれが自分事として考え、話し合う機運を作るのが私たちの活動の目的です。皆さんにはぜひ、ご家族や友人の方などに、今日は発電所を見てきたんだよという話をしながら、エネルギーを話題にしていただければと思います」と締めくくった。



和やかな雰囲気の中、身近な話題から専門的なことまで話がはずんでいた

エネルギー問題への思いをお聞かせください!

抽選で10人に QUOカードをプレゼント

締め切り:11月12日(日)



東北エネルギー懇談会のホームページにアクセスし、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10人にQUOカード(3,000円分)をプレゼント。

エネルギーに関する幅広い情報を掲載中
<https://www.t-enecon.com/>



アンケートはこちらから

参加者の声

火力発電の仕組みや太陽光による発電量を知ることができて興味深かったです。火力発電、太陽光発電ともにメリット、デメリットがあることが分かりました。



高校生の娘が再生可能エネルギーについて学んでいるところなので、若い人達が知る機会も設けてもらえるといいなと思いました。



太陽光発電所が、一定期間の後にはパネルの廃棄のことも考えなければいけないことを初めて知り、勉強になりました。



ただ施設を見学するだけでなく、エネルギーの未来や在り方についても見識を深められる機会でした。素朴な疑問にも丁寧に答えていただき、ためになりました。



エネルギーに関するお話がとても勉強になりました。私の周りの人にもエネルギーについて話していこうと思います。



日常ではこうしてエネルギーに対して深く考える機会がなかったため、これを機にエネルギーについて気に掛ける時間を増やしていきたいです。



エネルギー問題というと、あまりにも大きくなりどこか他人事のように感じていたのですが、実際は身近なもので、一人一人がほんの少しでも気を向けることで大きな力になっていくのではないかと感じました。



▶ 東北エネルギー懇談会

住 仙台市青葉区中央2丁目8-13 大和証券仙台ビル10階
電 022(267)0021 <https://www.t-enecon.com>

▶ 東北エネルギー懇談会 新潟事務所

住 新潟市中央区東大通2丁目1-20 ステーションプラザ新潟ビル202号室
電 025(256)8473